

平成24年度府民公募型安心・安全整備事業審査委員会
(南丹広域振興局 第1回)開催結果

日時 平成24年7月23日(月)午前10時00分から11時40分まで
場所 京都府亀岡総合庁舎3階会議室
委員 京都学園大学バイオ環境学部教授 深見 治一(座長)
京都学園大学経済学部教授 宇佐美 照夫
亀岡市まちづくり推進部理事 古林 峰夫
南丹市土木建築部長 人羅 均
京丹波町土木建築課長 十倉 隆英
京都府教育庁管理部理事 石田 斉(代理出席 名和管理課参事)
京都府警察本部交通規制課長 吉川 潔(代理出席 大出交通管制センター所長)
南丹広域振興局企画総務部長 上條 正和
南丹広域振興局農林商工部長 中村 昌博
南丹広域振興局建設部長 川嶋 淳一

1 提案状況の報告について

6月29日締め切りの応募状況(速報値)について報告

南丹広域振興局管内 提案総数341件

・所管別件数

建設236件 教育2件 警察102件 その他1件 計341件

2 事業実施報告について

・建設関係

府民提案型 117件 (実施:80件、実施しない:37件)

市町村協働型 12件 (報告のみ)

・警察関係

府民提案型 21件 (実施:18件、実施しない:3件)

・教育関係

府民提案型 2件 (実施:2件)

・健康福祉関係(淇陽学校)

府民提案型 1件 (実施:1件)

以上141件について審査し、技術審査結果のとおり101件の事業が「実施すべき」、40件の事業が「実施しない」として承認された。

3 委員の主な意見について

- ・用地買収を伴うので不実施という案件が何件かあるが、提案者には実施しない理由を納得できるように返答しているか。
→数百メートルの用地買収を伴い、数年かかる大規模事業については、公募型では実施できない等、提案者には実施しない理由を丁寧に説明している。

- ・大規模工事という理由で実施しない案件にも重要なものがあると思われるが、対応はされないのか。
→府民公募型事業はあくまでも即行性がある、すぐに実施できるものを対象としている。大規模事業については、別の観点から対応を検討することとしている。

- ・府民公募型事業は、きめ細かい府民目線で、行政から見れば気がつかないことに対応でき、地域住民にとって非常に有用である。